

文教厚生常任委員会記録簿				
会議日程	令和8年2月25日 9:30~10:26			
場所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	永井委員長	栄副委員長	柳谷委員	泰山委員
	里山委員			
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名	信島保健福祉課長			
付議事件	1. 所管事務調査「瀬戸内町の持続可能な介護に関する調査」について			
	担当課間取り 地域医療連携推進法人アンマについて			
担当職員名	宮原書記	委員長署名	永井 しずの	
会 議 の 概 要				
<p>1. 地域医療連携推進法人アンマについて担当課説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の趣旨と現状：2025年問題を見据え、医療資源を「競争」ではなく「協調」によって効率的に運用することを目的に設立された。現在、全国に58法人あるが、鹿児島県内では本町の「アンマ」のみである。 ・主な機能：医師・看護師の人事交流、病床の融通、研修会の共同開催、医薬品等の共同購入などが可能である。 ・活動実績：相談窓口「島の保健室」の設置、各種研修会の開催。また、現在、へき地診療所・南部大島診療所・瀬戸内徳洲会の3病院で行っている休日当番医を瀬戸内徳洲会に集約し、医師のみを派遣する形での効率化を県と協議中である。 ・構成員の変遷：当初4社でスタートしたが、現在はへき地診療所と南部大島診療所の2者で継続している。今後は奄美大島全体を視野に入れた法人化の動きもあり、医師会や徳洲会とも定期的に協議を行っている。 ・代表理事の体制：現在の代表理事は瀬戸内町長であり、理事には町長、南部大島診療所、へき地診療所の代表、九州大学名誉教授が名を連ねている。 ・瀬戸内徳洲会病院との関係：瀬戸内徳洲会は法人の正式な構成員ではないが、地域医療完結の観点から非常に協力的であり、実質的な連携体制は取れている。 <p>《質疑応答》</p> <p>泰山委員より、共同での送迎や配食サービス、人材不足解消のための「人材バンク」的な活用について提案があった。</p> <p>→(信島課長)制度上、介護事業所の参加も可能であり、今後の検討課題としたい。</p> <p>2. 意見書について</p> <p>信島保健福祉課長からの説明を受けた後、委員会として提出する意見書にアンマの活用を盛り込むかについて議論が行われた。</p> <p>その結果、本日の聞き取り内容については、委員会の活動経過として詳細に報告することとした。</p> <p>アンマに関する具体的な要望は今回は見送り、「介護人材の確保」・「配食サービス」の2点に絞って速やかな実施を求めることで合意した。</p> <p>3. 閉会</p>				